

NPO 法人

すべてのひとに消費者教育を 2025

C・キッズ・ネットワーク

広報紙 No.21

もっとネット

2025 年 6 月発行

特別支援学校高等部



若者の消費者トラブル

3 色カードで
クイズに挑戦!

一般消費者



悪質業者に強くなる講座

フェイスボード
の人物になりきり
事例を学ぶ

小学校 高学年



コンビニ食ってどんな食?

食べたいものだけ
を選ぶと
栄養バランスは?

食の安全に興味がある! 子どもが好き! 悪質業者に騙される人を減らしたい!
絵をかくのが好き! パソコンが得意! 賢い消費者になりたい!
好きなことを活かして、C・キッズの講座を私たちと一緒にやってみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

会員募集中



兵庫県立消費生活総合センターは、主に消費生活相談、消費者教育・啓発、事業者指導の3つの業務を行っています。学習交流推進課では、消費生活講座や啓発を担当し、センターの1階にある「消費生活情報プラザ」は、消費生活に関する書籍を閲覧でき、グループでの打ち合わせなどに平日の10時から17時まで利用いただけるスペースとなっています。

センターでは、C・キッズ・ネットワークが独自に開発された消費者教育プログラムを使って、「消費者力アップ体験学習会」などの講師をしてもらっています。

2024年8月、小学生向けの「夏休み子ども生活講座」で、「賢く使おう! ネットとスマホ」をテーマに講師をしていただきました。ネットを使う際のマナーや、個人情報を守るために気をつけることなど、わかりやすく説明。子どもも遭遇しそうなネットトラブルの事例を、ロールプレイングや〇×クイズで、楽しみながら学ぶことができました。

C・キッズさんのプログラムによる出前講座では、特別支援学校が特徴的です。昨年度1年間センターにいた際、何度か同行しました。「若者の消費者トラブル」や「契約ってな〜に?」では、契約は法的な約束であることや、トラブルの解決方法をわかりやすく伝え、消費生活センターの相談窓口「消費者ホットライン 188(いやや)」を覚えてもらえます。

金銭教育をテーマにした講座もあります。「楽しいやりくり」というメニューは、特別支援学校の生徒が「収入の範囲でやりくりすること」「急な出費や夢の実現に備える貯金の大切さ」を学ぶ内容となっています。手作りの教材で、お給料の中から携帯代など必要なお金を差し引き、残ったお金で買いたい物を買えるか、ゲームのように体験して学ぶものです。生徒からは「お金は大事なんだなと思いました」「ゲームも歌も楽しかったです」「給料をもらったら貯金をします」といった感想が聞かれ、これから就職する生徒にとって、貴重な学びの機会となっていると思います。

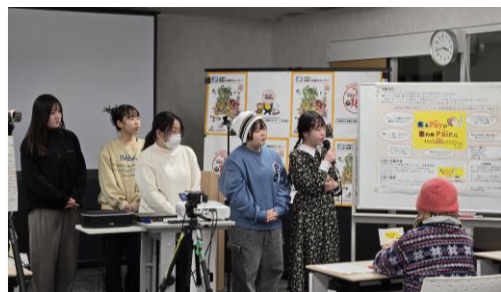
2024年度は神戸女子大学心理学部3年の学生6名が、授業のフィールドワークで、C・キッズ・ネットワークのメニューで学びたいとの希望がありました。大学が近いこともあり、センターの消費生活情報プラザで、最近の消費生活相談の傾向を学びました。C・キッズ・ネットワークの講座「賢く使おう! ネットとスマホ」「～消費者トラブルの防止策～ 地域にあなたの手を!!」を受講後、C・キッズ・ネットワークのメンバーと意見交換をして、消費者トラブル防止の啓発活動に取り組みました。

これからも、C・キッズ・ネットワークの皆様により多くの特別支援学校や県民の方に、消費者教育を届けていきたいと思っています。

元 兵庫県立消費生活総合センター学習交流推進課長
神頭由紀



夏休み子ども生活講座
「かしこく使おう! ネットスマホ」
2024/8/1



消費生活情報プラザで
啓発グッズ発表
2025/1/10

■ 出前講座事業

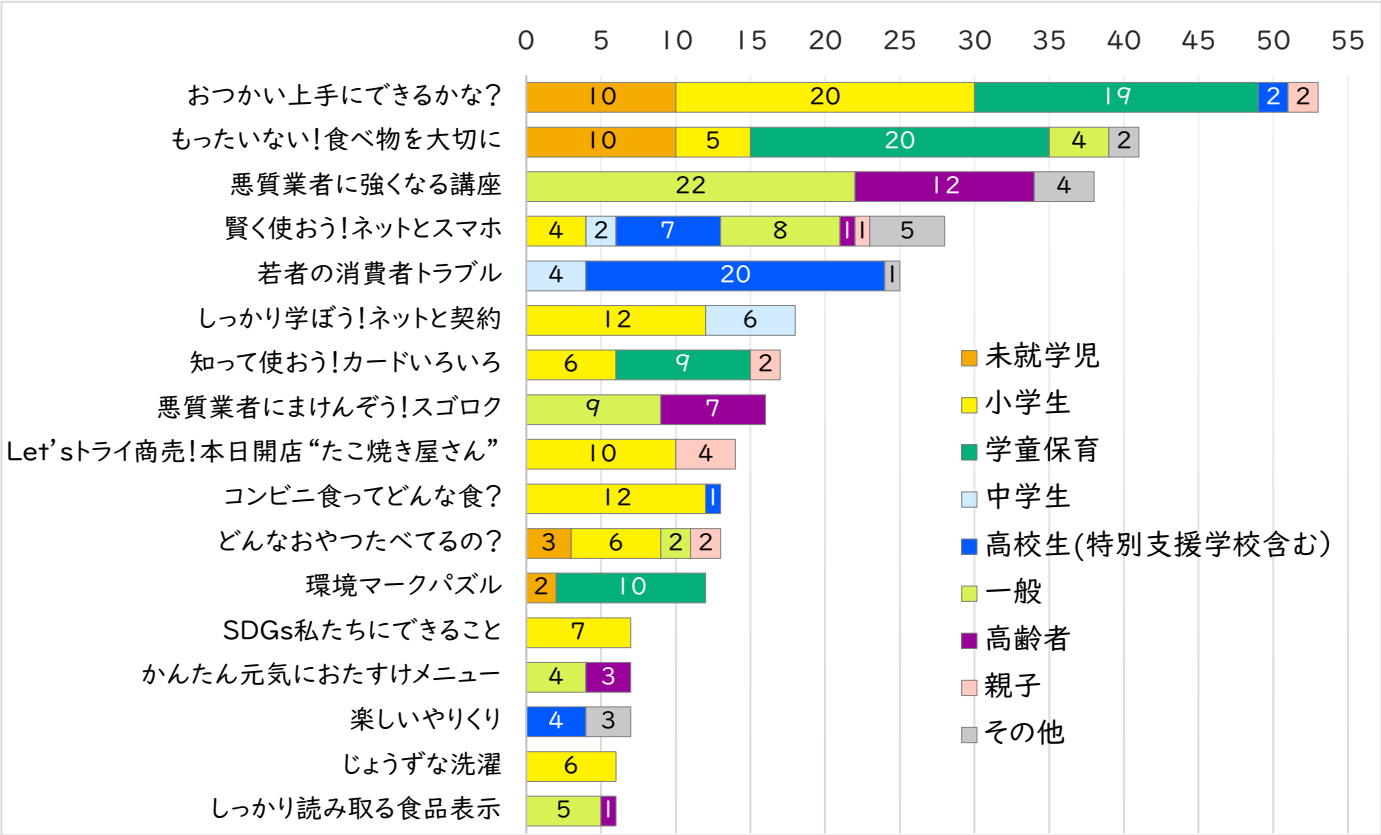
2024年度は 396講座を実施し、11,289人が受講しました。夏休みの学童保育児童対象講座は、宝塚市、湖南市、伊丹市などから依頼があり、62講座実施し、1,421 人の子どもたちが受講しました。講座の申し込みから実施までの限られた日程の中で講師の決定、教材の準備や受け渡しの検討、企画書の作成、練習会の実施などの準備作業に追われますが、無事に講座を終え、子どもたちから笑顔で「ありがとう」と言われると疲れも吹き飛んでしまいます。特別支援学校など支援を必要としている人を対象とした講座も毎年継続して依頼があります。今年度改良した金銭教育プログラム「楽しいやりくり」は6講座行いました。就労障がい者対象の講座も 11 講座と増えました。



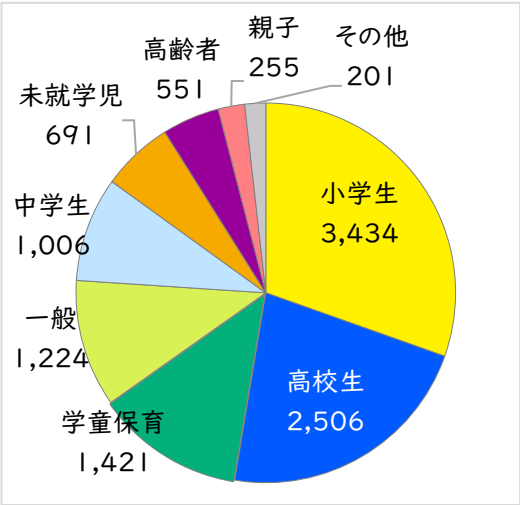
宝塚市・学童保育
「環境マークパズル」
2024/7/25

依頼者別講座数				
	センター・依頼者名	講座数	主な対象者	受講者数
兵庫県立の 消費生活 センター	消費生活総合センター	13	高校生・一般・親子	209
	中播磨	7	中学生・高校生(特別支援)	181
	西播磨	7	高校生(特別支援)・要支援者	93
	東播磨	2	高校生(特別支援)	14
	淡路	4	高校生(特別支援)	96
	丹波	1	高校生	95
県内市町の 消費生活 センター	宝塚市	73	学童・高校生・一般・高齢者	1,642
	西宮市	31	未就学児・小学生・一般・高齢者	864
	伊丹市	22	学童・小学生・一般・高齢者	469
	明石市	21	小学生	572
	川西市	9	未就学児・高校生・親子	768
	姫路市	8	小学生・中学生・高校生	1,167
	三田市	3	一般・高齢者	92
	尼崎市	2	一般	83
県外の 消費生活 センター	豊中市	34	小学生・中学生	1,083
	東大阪市	27	未就学児・小学生・中学生・一般・高齢者	558
	岐阜県輪之内町	14	小学生・中学生	283
	湖南市	9	学童	213
消費生活 センター 以外	コープこうべ	45	一般・小学生・親子	465
	播磨町産業環境課	13	小学生・中学生・親子	672
	ひょうごエコプラザ・ひょうご出前環境教室	8	未就学児	175
	全国消費生活相談員協会	7	未就学児・小学生・中学生・高校生	462
	多可町生活安全課	6	未就学児・一般	115
	神戸こどもエコチャレンジ21 倶楽部	5	学童	89
	奈良県金融広報委員会	4	親子	133
	尼崎市立武庫小学校	3	小学生	87
	三田市いきいき高齢者支援課	2	高齢者	120
	とよなか障害者就業・生活支援センター	2	要支援者	48
	すいた障がい者就業・生活支援センター	2	要支援者	16
	その他 12カ所	12	小学生・一般・高齢者・要支援者・親子	425

実施回数の多かったプログラム



対象者別受講者数



対象	人数	講座数
小学生	3,434	112
高校生	2,506	36
学童保育	1,421	62
一般	1,224	83
中学生	1,006	15
未就学児	691	33
高齢者	551	26
親子	255	14
その他	201	15
総計	11,289	396



宝塚市・学童保育
「おつかい上手にできるかな?」
2024/8/5



宝塚市・学童保育
「もったいない!食べ物を大切に」
2024/7/24



特別支援学校
「賢く使おう!ネットとスマホ」
2025/2/13



川西市・夏休み親子講座
「Let'sトライ商売!本日開店“たこ焼き屋さん”」
2024/7/31

■ 研修事業

下表のとおり、託児・食育ボランティア、障がい者サポーター、中学校教諭など消費者教育を担うリーダーを対象とした研修を行いました。担い手を通して多くの方に消費者教育が届けられ、また、消費者被害を未然に防ぐことができました。

開催地	対 象	受講者数	内 容
伊丹市 宝塚市	託児ボランティア	37 名	子どもの安全「成長と共に危ない!は変わる」
豊中市	中学校技術家庭科教員	15 名	「しっかり学ぼう!ネットと契約(実践編)」
宝塚市	民生委員	83 名	「悪質業者に強くなる講座」
宝塚市	権利擁護サポーター	7名	「消費者被害の現状～判断力が不十分な人の被害と対応～」
神戸市	消費者団体	9名	「消費者トラブル防止策～地域にあなたの手を～」
伊丹市	食育ボランティア	15 名	「食べ物を大切に!を伝えられる人になろう」
宝塚市	ケアマネジャー	11 名	「悪質業者に強くなる講座」
多可町	地球温暖化対策推進委員	18名	「楽しい省エネ生活」
三田市	自治会長	13名	「身近に潜む詐欺・契約トラブルについて学ぶ」

■ 消費者教育支援事業

神戸女子大学心理学部「心理学研究総合演習」に消費者教育を取り入れることとなり、当会が講座を実施しました。その講座で消費者トラブルの現状を学び、学生自らトラブル防止の啓発講座プログラムの作成に取り組み、当会会員向けの発表会を行いました。

また、学習内容を踏まえ、啓発キャッチフレーズを考え、兵庫県立消費生活総合センターとのコラボで啓発用グッズを作成しました。



啓発キャッチフレーズ入りの
ウェットティッシュ

啓発キャッチフレーズ

「焦る Pay(支払い)が思わぬ Pain(痛み)にすぐに 188 にかけてよう」

■ 兵庫県立消費生活情報プラザの運営

兵庫県から委託を受け、消費生活情報プラザの運営を行っています。アドバイザーを配置し、窓口業務、利用者への助言、消費者啓発講座を実施しています。

2024 年度は、消費生活講座(会場参加・オンライン参加・見逃し配信あり)12回、こども生活講座2回、消費者力アップ体験学習会6回を実施し、中高生向けの消費者情報メールを3回発行しました。また、講座の会場参加者にミニレクチャーを4回実施しました。特別支援学校への出前講座は10講座実施しました。



消費生活情報プラザで
当会オリジナルの啓発用教材を掲示



消費生活講座 有賀敦紀氏
「だまされないための心理学」
2025/1/31

SDGs講座後 ミニレクチャー
風呂敷の活用
2024/10/28



■ 教材・講座プログラムの改良

教材や講座プログラムは、新しい情報を取り入れ、受講者にあわせた内容に修正するなど、見直し・改良を行っています。

プログラム	内 容
楽しいやりくり	ホワイトボードに掲示する教材から、パワーポイントに変更。受講生が行うワークは従来通りの教材を使用し体験型を残しています。さらに、既存プログラムの「給与明細を知ろう」をロールプレイとカードを用いた 15 分のサブプログラムに改良し、取り入れました。 ※プログラム改良には NPO 法人消費者ネットジャパン(じゃこネット)の寄付金を活用しました
省エネすごろく for キッズ	小学校低学年向け、未就学児向けのすごろくをリニューアルしました。すごろくの文言や内容を見直すとともに、未就学児向けのルールを簡単にしました。
知って使おう!カードいろいろ(学童向け)	シナリオの見直しを行い、プログラムに歌とダンスを取り入れました。
環境マークパズル	現状にあわせて、講座シナリオ、紹介するマークの見直しを行いました。
楽しい省エネ生活	新しい情報を取り入れ、講座シナリオを見直しました。パワーポイントスライドのデータ更新、説明の修正・追加を行いました。
しっかり読み取る食品表示	
若者の消費者トラブル	

■ イベント参加

今年度も西宮消費生活展と宝塚市のパネル展に参加しました。

開催日	場所	名称	内容
11月9日	西宮市	消費生活展	「環境マークパズル」をテーマにクイズ、パズル、工作コーナーを設置。80人参加
9月17日~24日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	「食べ物がどこから来たのか考えよう!」 パネル展示
9月26日~10月3日	宝塚市	食育推進会議 パネル展	「食料自給率について考えよう!」 パネル展示
2月12日~20日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	「フードマイレージと食料自給率について考えよう!」 パネル展示



西宮市消費生活展
2024/11/9



パネル展で使った
ポスター

「すべての人に消費者教育を!」と謳っている当会では、特別支援学校や就労障がい者向けの講座にも意欲的に取り組み、分かりやすく参加型の講座の実践に力を尽くしてきました。今回はその中から「楽しいやりくり」を紹介します。このプログラムは2012年に開発した金銭教育プログラムで「限られたお金をいかに工夫して使うか」を学びます。2024年にはサブプログラム「給与明細を知ろう」を加えて、さらに内容の充実を図りました。

■ 楽しいやりくり

給料日から1週間で、ふたりはお給料を全部使ってしまいました



「魔法の袋」で給料を仕分け
「生活費」「自由に使っているお金」「貯金」の3つの封筒に給料を分けて入れます

内容
ロールプレイ「魔法の袋」
ワークショップ「楽しいやりくり」 1ヶ月のお金のやりくりを考える「絶対必要な生活費」と「自由に使っているお金」 ・最初に「絶対に必要な生活費」を確保 ・「自由に使っているお金」の一部を先に「貯金」 ・貯金は「急な出費」と「夢の実現」のため
楽しいやりくりの歌
サブプログラム「給与明細を知ろう」 困ったことが起きた時、どういう制度が使えるのか、どこに相談すればよいのか、給与明細を見ながら考える



「自由に使っているお金」の使い道を自分たちで考えてもらいます

「給与明細を知ろう」

給与明細の支給額・控除額を具体的に解説

給与明細の例			
従業員No	1209457	氏名	田中一郎
部署コード	A810	対象年月	2024年6月
		基引支給額	155,644
		手取り	155,644
支給額		控除額	
基本給	160,600	健康保険	7,790
住宅手当	5,000	厚生年金	14,582
家族手当	0	雇用保険	1,339
時間外手当	6,235	所得税	3,200
通勤手当	10,000	住民税	6,500
通勤手当	9,500	労働組合費	780
支給額合計	191,335	旅行積立金	1,500
		控除額合計	35,691

使える制度、相談場所のカードを
ことから別に並べるワークを行います

ことから	使える制度	相談場所
失業		健康保険 年金事務所
ケガ		厚生年金 ハローワーク
定年		雇用保険 健康保険協会

講座をするにあたって・・・

- ・障がいの度合いは、参加者ひとりひとりによって違います。事前に受講生のレベル、特に配慮が必要な人がいるのかを確認し、その受講生への対応を打ち合わせしておくことが大事です。
- ・内容が伝わっているか様子をみながら、相手によってはより簡単な言葉で分かりやすく説明しています。
- ・受講生が「自由に使っているお金」「夢の実現のための貯金」とは何かを理解したときにみせる表情にやりがいを感じます。

伊丹市消費者力アップ講座(2025年1～3月)

- | |
|---------------------|
| ①だまされない！インターネット・スマホ |
| ②しっかり読み取る食品表示 |
| ③悪質業者に強くなる講座 |
| ④楽しい省エネ生活 |
| ⑤もったいない！食べ物を大切に |
| ⑥身近にひそむ契約トラブル |
| ⑦誰でもできるSDGsな暮らし方 |
| ⑧かんたん元気におたすけメニュー |
| ⑨悪質業者にまけんぞう！スゴロク |
| ⑩省エネで暮らす私の1日 |

伊丹市にて市民対象に集合型の「消費者力アップ講座」が10回にわたり開催され、C・キッズが講師を務めました。
受講した市民からは「すぐ実践できる内容を学んだ」との評価をいただき、2025年度も行われることになりました。
このような市民講座が継続的に開催されれば、市民の消費者力を底上げすることにつながります。
他の地域でもこのような講座が実施されることを期待したいです。



「しっかり読み取る食品表示」
2025/1/22

生活習慣病やダイエットのためにカロリーオーバーを気にしている人は、パッケージの裏面にある栄養成分表示を確認していると思います。その際に甘味料は何か、チェックしていますか？2023年7月14日、国際がん研究機関（IARC）が甘味料のアスパルテームに対して、発がん性がある可能性があるグループ 2B に指定しました。IARC は WHO のがん専門機関で、主に人に対する発がん性に関する様々な物質・要因（作用因子）を評価し、4段階に分類しています。その分類は、人に対する発がん性があるかどうかの「根拠の強さ」を示すもので、物質の発がん性の強さや暴露量に基づくリスクの大きさではありません。

4 分類のグループ 1 はヒトに対して発がん性がある。
グループ 2A はヒトに対して恐らく発がん性がある。
グループ 2B はヒトに対して発がん性の可能性がある。
グループ 3 はヒトに対する発がん性について分類できない。となっています。2A、2B、3 となるにつれて、ヒトにおける発がん性の根拠が弱くなります。

クイズ それぞれどのグループでしょうか？

- ①非常に熱い飲み物
- ②アルコール飲料
- ③漬けもの

答えは

- ①非常に熱い飲み物は、グループ 2A
- ②アルコール飲料は、グループ 1
- ③漬けものは、グループ 2B

なるべく食品添加物は摂取したくないから「私はいつも食品表示をチェックしているわ」と言う人も、知らない所でアスパルテームを摂取している可能性があります。それは薬です。小児用の甘い粉薬やOD錠です。OD錠はラムネみたいに溶ける水なしで飲めるタイプの薬で、口の中で溶けた時に苦味を感じにくくするためにアスパルテームが含まれているものがあります。と言ったら心配になりますが、もちろん許容一日摂取量（ADI）を下回っているのです。基本的には心配する必要はありません。服用している薬にアスパルテームが含まれているか知りたい方は、医薬品の添付文書をネットで調べて下さい。もしくは、PMDA医薬品医療機器総合機構のHPで検索してください。

2024 年 4 月、食品添加物の不使用表示に関するガイドラインが完全義務化され、「無添加」「化学〇〇不使用」などの表示が厳格化されました。「無添加」と表示されていると、いかにも添加物や化学〇〇は体に悪いものだと消費者に誤解を与えるからです。とはいえ、食品表示の複雑さは変わりなく、食品表示を読み解く能力は更に必要とされます。そのためには常に情報をアップデートし、情報の発信元はどこか、情報の科学的根拠は、情報は何時のものか、確認しなければなりません。

C・キッズ会員 たいのたい

お知らせ

会員の首藤陽子さんが
昨年12月10日に
ご病気のため永眠されました
謹んでご通知申し上げます

～編集後記～

知的障がい者対象の講座は、まだまだ十分に実施されていません。「すべての人に消費者教育を！」を掲げている当会ではこれらの方たち対象の講座にも積極的に取り組んできました。今回その中のひとつ「楽しいやりくり」を講座紹介で取り上げています。寄稿文でも C・キッズの特別支援学校向けの講座内容に触れていただいています。どうぞ、あわせてお読みください。 2025 年 6 月広報一同